



2024年2月14日

各位

会社名 岡本硝子株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 岡本 毅
(コード番号 7746 東証スタンダード)
問合せ先 財務経理部長 風間 卓
電話 04-7137-3111

営業外収益の発生及び2024年3月期業績予想に関するお知らせ

当社は、2024年3月期第3四半期連結累計期間において、営業外収益を計上するとともに、最近の業績の動向等を踏まえ、2023年5月15日に公表いたしました2024年3月期通期の連結業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の内容

2024年3月期第3四半期連結累計期間において、助成金収入53百万円を営業外収益に計上いたしました。新潟県柏崎市に立地する子会社の新潟岡本硝子株式会社での新潟県特別高圧電力利用事業者等支援事業補助金などによるものです。

2. 2024年3月期通期連結業績予想の修正

(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,250	百万円 150	百万円 130	百万円 100	円 銭 4.30
今回予想 (B)	4,600	20	60	20	0.86
増減額 (B-A)	△650	△130	△70	△80	
増減率 (%)	△12.4	△86.7	△53.8	△80.0	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	4,886	133	146	214	9.23

修正の理由

当第3四半期連結累計期間において、世界的な物流混乱の解消と中国のゼロコロナ政策終了によるプロジェクターメーカー各社の部品在庫水準の正常化が概ね収束したものの、足元のプロジェクター需要が中国市場を中心に弱含みとなっております。このため、当社グループのプロジェクター用反射鏡及びフライアイレンズへの需要回復は遅れております。併せて、化粧品容器の加飾蒸着への需要は、中国での消費マインドの低迷の影響を受け、また、フリットへの需要は、中国での設備投資の低迷の影響を受けております。これらにより、売上高は、前回公表時(2023年5月15日)の予想を650百万円下回る見込みです。

前回公表の営業利益の予想は、日本政府によるエネルギー価格の負担軽減策が2023年9月終了の前提であり、この負担軽減策が当期中は継続することによる熱・エネルギー費の減少、修繕費等の経費削減による改善はあるものの、売上高低下の影響をカバーしきれず、営業利益は、前回公表時の予想を130百万円下回る見込みです。

経常利益は、これまでのところ、前回公表時の想定よりも円安米ドル高で推移し、米ドル建て売上債権を中心に為替差益が発生しているため、前回公表時の予想より70百万円減に留まる見込みです。

以上